

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○印で囲むこと。)

1 身体計測

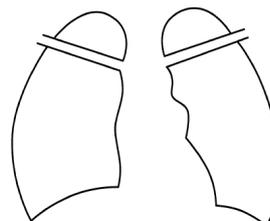
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- (1) 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- (2) 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- (3) 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
- (4) 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- (5) 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- (1) 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)
- (2) 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)
- (3) 線維化 (無・軽度・中等度・高度)
- (4) 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)
- (5) 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)
- (6) 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- (1) 予測肺活量 0 (実測肺活量 0)
- (2) 1秒量 0 (実測努力肺活量 0)
- (3) 予測肺活量1秒率 % (= $\frac{(2)}{(1)} \times 100$)

注1 (1)の予測肺活量については、次の予測式を使用して算出すること。ただし、予測式の適応年齢は、男性18歳から91歳まで、女性18歳から95歳までであるので、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。

肺活量予測式 (0)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

5 動脈血ガス (年 月 日)

- (1) O₂分圧 Torr
- (2) CO₂分圧 Torr
- (3) pH
- (4) 採血から分析までに時間を要した場合 時間 分
- (5) 耳朶血を用いた場合： []

注2 動脈血の採血及び分析は、安静恒常状態において次に掲げる条件下で行うこと。

- (1) 採血時の体位は背臥位であること。
- (2) 採血時の吸入ガスは室内気呼吸中のものであること。なお、O₂分圧については、本人の状況により酸素吸入中の数値しか得られない場合、吸入気の酸素濃度及び酸素投与の方法を記入すること。この場合、障害区分や等級決定に当たり、改めて問合せをすることがあります。
- (3) 採血後、分析を5分～10分以内に速やかに行うこと。

6 その他の臨床所見・検査所見